

# 凍結防止水栓上部 取扱施工説明書

安全のため必ずお守りください。また、この取扱施工説明書は大切に保管してください。



## 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合



## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損傷のみの発生が想定される場合



## 警告

- 排水には十分注意してください。  
凍結を防止する機能が働いて流れ出した水が地面で凍結し、すべてケガをする恐れがあります。



## 注意

- 冬期間はホースを水栓につないだままにしないでください。また、水栓の下には十分な空間を確保してください。ホース内での凍結または、水栓吐水口部での凍結で機能がはたせなくなります。
- 何か異常を感じた場合は、販売店または当社にお問合わせください。
- ゴム弁の清掃および交換時以外は、分解・改造をしないでください。故障や事故の原因となります。

## 故障ではありません

＜水栓を閉めても水が止まらない＞

- 凍結防止のため一度開いた弁は、感知部の水温が4.5℃以上に上がらない場合は止水しないことがあります。
- ゴム弁部にゴミが噛んでいると水が止まらなくなることがあります。  
取付時と同じ要領でカバーナットを外し、内部のゴミを削除してください。(裏面＜図2＞参照)
- ゴム弁部破損の場合水が止まらなくなることがあります。市販のコマのゴム弁と交換してください。
- 上記作業をする場合は、必ず元栓を閉めてください。

## 構造・作動

＜作動原理＞

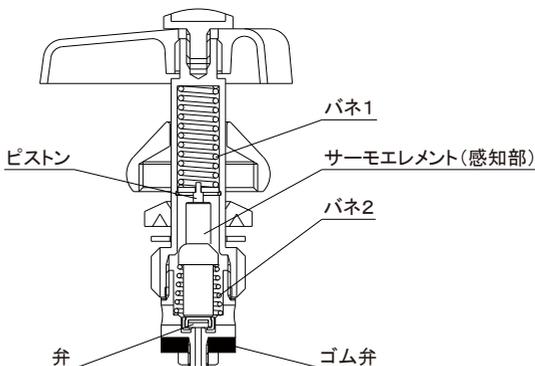
平常時の使用法は普通の水栓と全く同じです。  
止水の状態では周囲温度が下がると、サーモエレメントが温度を感知してピストンが収縮し、バネ2によりサーモエレメントに接続された弁が押し上げられ開弁します。  
水が排出され流動する水の温度が上昇すると、ピストンが伸びバネ1により弁が押付けられ閉弁します。

＜仕様＞

- 使用流体温度範囲 4.5～80℃
- 使用環境 -15℃以上
- 開弁温度 1.7±0.7℃
- 閉弁温度 4.5℃
- 作動時流量  
雰囲気温度 0℃  
流体温度 0℃  
給水圧力 0.05MPa  
の場合450ml/分以上
- 使用圧力範囲 0.04～0.75MPa

\* ゴム弁の清掃および交換をする際は、裏面＜図2＞を参照してください。

＜図1 構造図＞



# 施工される方へ

施工後、お客様にこの取扱施工説明書をお渡しください。

## ⚠ 注意

- 本品を取付けの際は、必ず元栓を開けて作業をしてください。
- 本品は給用水栓にご使用ください。(給湯用水栓にはご使用できません。故障の原因となります。)

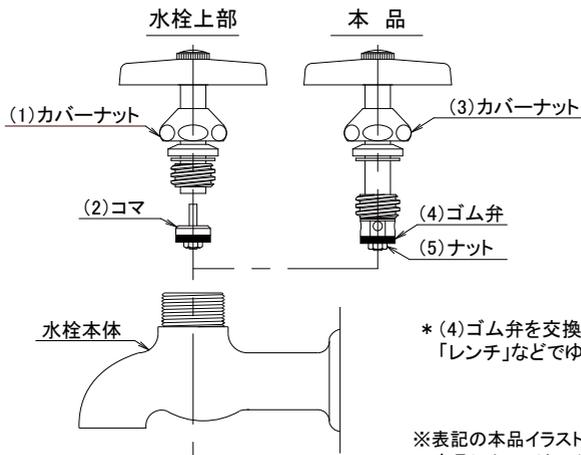
## 取付上の注意

- ご使用の水道が
  - ①給水圧力0.04～0.75MPa
  - ②水道本管の水温(水栓を開けて1～2分後の水温)が4.5℃以上あること。
- 外気温度が-15℃以上であること。
- 家庭内の水栓に取付ける場合、水栓の周囲温度が1.0℃以下にならず、屋外の温度がマイナスになるような場所ではご使用できません。  
(凍結を防止する機能が働かないうちに、屋外の配管が凍結する場合があります。)

## 施工例

- ①元栓を閉めます。
- ②水栓上部の(1)カバーナットを「レンチ」などでゆるめ、水栓上部を取外します。  
\* 水栓本体の中には(2)コマが入っていますので、「ピンセット」などで取出してください。
- ③水栓本体に本品を取付け、(3)カバーナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- ④元栓を開けます。  
\* 水もれが発見された場合は、作業をやり直してください。

<図2>



\* (4)ゴム弁を交換する際は、(5)ナットを「レンチ」などでゆるめて交換してください。

※表記の本品イラストは代表品番でのイラストです。  
商品によっては、イラストと本品の形状が一部異なります。